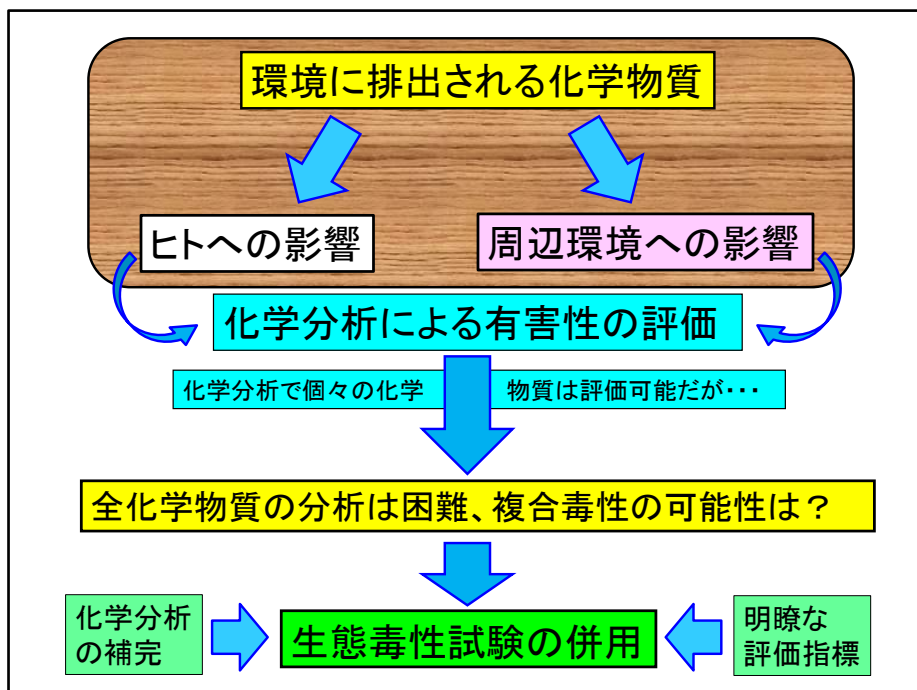


秋田県立大学「人類の持続可能な発展に資する科学技術」  
「苗」研究のエントリーシート

研究テーマ	陸生生物を用いた生態毒性試験法の開発		
研究代表者	阿部 誠	役職	准教授
フリガナ	アベ マコト	学位	博士（農学）
学科等	生物生産	Eメール	<a href="mailto:abeman@akita-pu.ac.jp">abeman@akita-pu.ac.jp</a>
主な共同研究者(学内)	特になし		
主な共同研究者(学外)	山田正人（国立環境研究所）		

研究の内容

- ・様々な化学物質の環境影響評価を実施する上で、化学分析の弱点を補完できる生態毒性試験法について、研究を行う。
- ・水生生物に比べ、研究の進んでいない陸生生物を用いた手法に重点を置いて研究を進める。



本研究の概要図

#### 研究の独自性・アピール点

- ・国内では研究例の少ない、陸生生物を用いた生態毒性試験法の開発
- ・新規な供試生物種と評価指標（基準）の提示

#### 期待される成果・波及効果

- ・化学分析だけでは分からない、化学物質の有害性の検出
- ・様々な状況（農地、住宅地、埋立地等）に対応した、環境影響評価手法の提示

#### 関連する主な業績

- ・阿部 誠・山田正人（2009）土壌動物（トビムシ）を用いた固体廃棄物の環境影響評価手法の検討、第8回環境地盤工学シンポジウム発表論文集、p.287-290.
- ・阿部 誠・山田正人・井上雄三（2007）ミミズを用いた埋立地浸出水の環境影響評価手法、環境科学会誌 20（6）：503-510.

#### キーワード

生態毒性、陸生生物、化学物質、有害性評価